

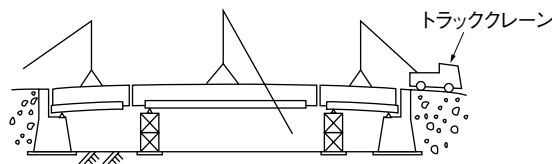
Q19

プレビーム桁の架設は、
どのような工法が一般的ですか？

A19

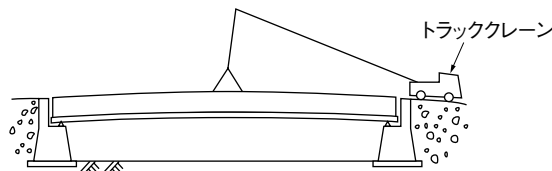
1. セグメントごとのトラッククレーンベント工法

桁下の使用が可能な場合に採用され、通常最も経済的となる架設工法です。工場で製作されたセグメントは現地まで輸送され、この桁をトラッククレーンにてベント上に架設し、各セグメントを連結します。



2. トラッククレーンによる一括架設

長時間にわたる桁下の使用ができず、短時間での架設が要求されるときに採用される架設工法です。工場から搬入したセグメントを地組みにより1本物にした後、トラッククレーンにて一括架設します。



3. 架設桁架設

河川上などで桁下の使用が困難な場合に採用される工法です。工場から搬入したセグメントをトラッククレーンにて架設桁上に仮置きし、連結した後、門構あるいはトラッククレーン等にて横取り架設します。

